

みんなでつくろう

ドヤ みんなの
ドヤ 声
ドヤ

●ドヤとのトラブルの原因

●友達の出入りが多いから
出て行つてくれといわれて

●仕事で帰りが遅くなった
とき、部屋をすぐ他人にま

わす、信用していない。

●金払うのが遅れて、出て

いけ、と言われたとき。

●払つて一回位忘れられ

る。(酔つたときごまかさ

れる)

●酒を買つてきてはいけな

いと言われたとき。

●ドヤに対する要求

●出来るだけ安くする。こ
現在は平均して割り高。
●安くして広く、設備をこと
のえるように。

●安くして広く、トイレがき
れい。

●水道、ガス、テレビ付け
てほくい。

●部屋がせまいし、ガス、
水道を部屋に。

●ドヤ仲が高すぎる。(千

円以上は高い。

●きれいで、安くして、人間
的なやりとりができる様。

●娯楽室がほしい。

●二、三日位の滞納しんぼ
ところ。

●二、三日位の滞納しんぼ
ところ。

●二、三日位の滞納しんぼ
ところ。

●二、三日位の滞納しんぼ
ところ。

●二、三日位の滞納しんぼ
ところ。

●二、三日位の滞納しんぼ
ところ。

ターチャンの 死を悼む

マタギの子、ターチャン
が三十二才で死んだ。

江利チエミのように、焼

酎の牛乳割りを飲んだあと

ノドをつまらせて死んだ。

つまつたのは、結核のため

の吐血だ。

結核と酒のために死んだ。

家族が判らぬために、解剖

のあと組合葬はしたが、骨

の行えが定まらぬ。

野垂れ死にさせられたター
チャンの死の一つとなつ

たターチャン。無念!

モチ代カンパ

百十三万六千六百

ありがとう!

十二月三十日、十二月

一日、両日、モチ代が

支給されたが、その時に

金日券を主とした十六

回越冬闘争実行委員会が

越冬闘争へのカンパを

呼びかけたのに対して、

多くの仲間が協力し、百

十三万六千六百六十四円のカ

ンパが集った。このお金

をもとに、今年も、仲間

から一人の死者を出すな

の闘争が始められる。感謝

ドヤ・天皇制・そしてシンギ屋・ハシ・彗星マ・マ・マ

前回の夜間学校はドヤ調査の最終日。集約は終了して、いなかっただけのドヤ、話からスタート。途中からいろいろな話飛び出し、右の

ような結果になりましたが、さてその内実は……

「このビラの内風呂というのはいらんて、できたらずきたで、ま

たドヤ代上るんとちやうかし

「二日間集計では百人ちよっ

とのうち五十六人が欲しいと

いうことやったに

「やっぱりなまとした銭湯がい

ちばんや

「ただ一口があるから値上げす

るというのはストウアさせな

かんて

「ドヤ代はなんとかできるとし

やうかな

「それは単純といっしや、は

じめはへたつたけと最近五

百円ずつ着聞で上ってる。要は

「困結や、こいしかない」

「ドヤ組合なんかでは新しいて

る感じや。大和中央に運ばれてくるヶガ人も増えてる」

「年末になるともっと増えるし

警察に行ってもやらゆる方が悪

い言うだけや」

「西成署はヨソの警察とは正反

対やからな」

「シンギはさつちりやつつけな

いかん。そのためにはちゃんど

頼をまぼえておくことや」

「それはさうとこの前テしで

ハシ―警察を見ただけと小さいも

んやな」

「果年になつたら肉店でもソコ

ソコ見えるようにするらしい」

「いつも思ふんやけどこの宇宙

の果てはとないな、とるんや」

「結局わからんいうことや、光

の速さ以上に宇宙の量が膨ら

るわけや」

「どういふことや」

「物を見るというのは結局それ

当っている光を見るということや

けどそれが光の速さ以上にな

と見らへんわけや」

「何やまづわからん、この夏

は靖国神社でもめたな」

「国のために死んだ人をまつる

のが何で悪いんや」

「それなら千島、湘の国立霊園

に行ったええねん」

「この国でも戦争死者はや

つてそれとみんな無差別や」

「日本だけや、特定の宗教と関

係があるのは」

「せやけど靖国はイカンや」

「な、ウロウロするめ」

「何人の問題と国の問題は別や」